

ハローキャリアワーク通信

令和7年8月1日
教育総合センター
事業推進担当課



7月29日（火曜日）に楽天モバイル株式会社 業務企画推進室楽天モバイル大学課 金森 みなみ様はじめ、楽天モバイル株式会社 情報セキュリティ推進部 CSIRT 推進課 石黒友香子様、楽天グループ株式会社 情報セキュリティ・プライバシーガバナンス部 並木梨紗様、阿部綺星様など多くの楽天社員の皆様により「君のアイデアが楽天を守る!? インターネットを安心・安全に

使える方法を楽天社員と一緒に考えよう」というプログラムが午前、午後と2回にわたり行われました。

応募総数 89 名の中から午前・午後それぞれ20名ずつが当選し、当日は午前17名、午後18名が参加しました。残念ながら欠席される方もいましたが、参加した子どもたちからは「楽しかった」「楽天の活動は、情報セキュリティなど凄と思った」などと充実したことが伺われる感想がありました。



初めに教育委員会の担当者から諸注意と熱中症の対応として、大人に声をかけることや水分補給のこの話と担当者の自己紹介をしました。その後楽天の金森様に引き継いで、開始されました。

初めに、グループ内で自己紹介を行い、諸注意など話されました。次に楽天という企業の歴史や現状の話を進める中で、企業内では「英語」が公用語であることも含め、楽天が行っている現在のサービス（約70ものサービス）のこと、今日の目標である



3つの点「インターネット正しい使い方、自分で考えて、正しい情報を見つけられる人になる、楽天のサービスを安心して使うためには、どのようなことが必要なのか？」が示され、今日の流れを話されました。そして、オフィスツアーを2つのグループにして行いました。9階のフロアーに向かい、コンビニで「楽天ペイ」での商品購入の仕方を行ってくださいました。そして、食堂やトレーニングジムを見学させていただき、2階の楽天の歴史の展示、楽天のお買い物パンダとの写真撮影、「来賓」との商談スペースを見学させていただき、研修室に戻りました。その間「おしゃ





ボードゲームで実践「復習としてのワークシート」について示されました。特に、初めに「インターネットの5つの約束」と題して、まとめられたプリントを基に「①人を傷つけない ②自分の情報を伝えない ③インターネットで知り合った人と会わない ④人のパスワードなど勝手に使わない ⑤困ったことが起きたらすぐに大人に相談する」について説明しながら子どもたちに質問されました。特に、人を傷つけない、ネットで知った人に会わないについては重視して話してくださいました。その後、自己紹介で使用したご自身の写真をAIで作り替え、こんなことも簡単にできてしまうということも示してくださいまし



進め方を聞き、各グループで開始しました。「問題発生カード」や「クイズカード」に答えながら進めていますが、午前の部のグループはなかなか進めませんでした。しかし、午後のグループでは、時間内にゴールできるグループもありました。このゲームには、楽天の社員の方も加わっていただき、楽しく進めることができました。

ゲームも終わり、5つの約束について再度確認して、振り返りとして家庭できるワークシートについての話

べりはしないで、工作中だから」との指示に従い、子どもたちは、真剣にそれぞれの所で話を聞いていました。

部屋に戻ってから、いよいよ第1部の「情報セキュリティについて学ぼう」と題して、安全にICTを活用するために知っておくべきことについて、石黒様から「楽天モバイルが行っている仕事について」のクイズから話が始まり、ご自身が日常取り組まれている仕事「情報セキュリティ事故防止」について話され、今日の学習の流れとして、「情報セキュリティの知識」「ボ

た。また、「グループチャットでのいたずら」と題して問題を出され、子どもたちに問題点を考えさせていました。「人を傷つけない。困ったことを知ったら大人に相談する」などの点が大切だと分かるように話されていました。

次は、「サイバーポリスゲーム」というボードゲームを使って「5つの約束」の実践となりました。これは双六になっていて、出た目の所でその指示に従い、「ポイント」を取りながら進めるもので「5つの約束」が回答のヒントになっていました。ゲームの





で、この時間は終了しました。次に阿部様から「プライバシー」についての話になりました。プライバシーについては、自分の立場、会社の立場から考えるとのことで、初めは、自分の立場で「Instagram」を例にとって考えさせる内容でした。Instagramには、「自分の情報を自分でコントロールできる機能がある」とのことで、「なぜ、この機能があるのか」という問いから始まりました。すなわち、公開できる範囲を「自分だけ、親しい友達、フォロワー、全世界」とするのは、自分で選べる、このことは、自分のプライバシーを守ることにつながるのとことでした。そして、自分のプラ

イバシーを守る力を身に付けることの重要性を話されました。その視点が「公開する範囲を選ぶ」「アップする内容の影響を確認する」「大切な情報は信頼できる相手だけにする」「渡す情報の内容を理解する」とのことでした。子どもたちは、5つの約束のプリントを観ながら話を聞いていました。次に、会社の立場から考えるワークになりました。

「カードや、アプリ」を使用するとその会社には「どんな情報を渡しているのか？」を考える内容でした。

「楽天ペイ」をオフィスツアーで使用して、社員



の方がコンビニで飲料水を購入したことを話され、「楽天ペイ」を利用するために「いつどんな情報を提供しているのか」ということを利用するためにどんな情報が必要か付箋紙を利用して、ワークシートに張り付けていきました。楽天ペイをもつためには、楽天に会員登録をする必要があるとのことで、その際に必要な情報は「名前、メールアドレス、住所、生年月日、ユーザーID、パスワード」といろいろな情報を渡します。そして、支払いには、クレジットカード情報か、口座番号を登録し、



購入すると「金額、購入した店、その住所、購入したもの」などいろいろな情報が分かるのとことでした。子どもたちは、ワークシートに記されたことを確認して、グループで話し合いながらまとめていました。さらに、会社はこの情報をどのように使うかを考える内容になりました。すなわち、データから利用者の特徴を予測して、データ





を分析し、さらに、より良いサービスの提供をするのが「楽天」とのことでした。そこでまず「楽天ペイの利用履歴」から、利用者の特徴を予測する「プロフィール」を行いました。このような活動は学校で



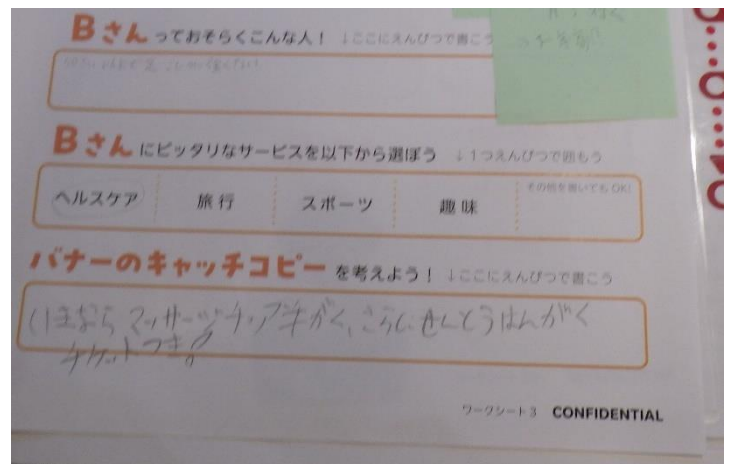
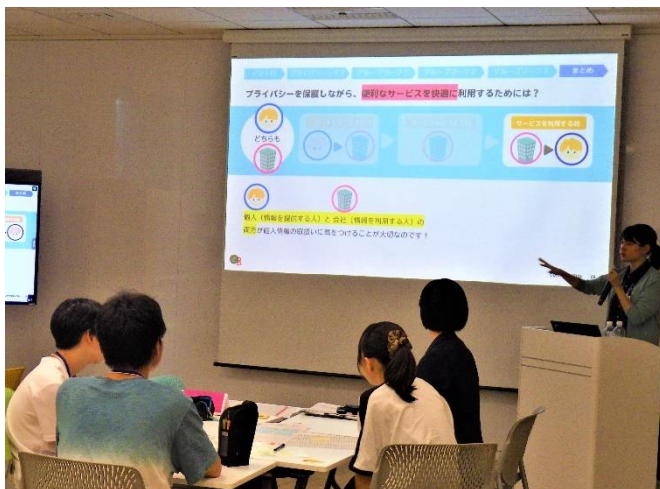
はしませんが、多面的に物事を見ていく力につながり、いい内容と感じました。そして、子どもたちに2人の例示の資料が渡されました。1枚は、月に17万

円の利用者で、世田谷区の販売店、飲食店、自家用車の利用などが記されていました。2枚目は、月



に5万円程度の利用者で、墨田区での利用が多く、薬局や手芸用品、ペットショップなどで利用していることが分かりました。そして、このワークの仕上げは、会社（楽天として）どんなサービスを提供し、それに目を向けてもらえる「キャッチコピー」を考えることでした。時間になり、それぞれ考えと事を発表することになりました。その際に注意することとして、個人としては、特にプライバシーポリシーに配慮することのようです。会社は個人に対して、個人情報取り扱いに十分気を付けることが大切なようです。子どもたちは、1枚目の利用者は、「家族旅行」などの提案で2名目は「お手頃格安旅行、温泉ハイキング」などの案を発表していました。最後に集合写真を撮りました。







午後の部



午前の部